

平成 25 年度実績に関する施策・基本事業評価表(兼 主要な施策の成果報告書)

基本目標No.	1	基本目標名	にぎわい、活力あるまち
施策No.	6	施策名	水産業の振興
主管課名	農林水産課		
関係課名			

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・資源管理が行われ、安定した漁獲量が保たれています。 ・漁業の後継者が育っています。 ・魚津の魚が評価され、たくさん消費されています。
-----------	---

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・市民は、安全で新鮮な地場産食材を利用します。 ・事業者は、沿岸漁業資源を増やす努力や海を資源とした新しい事業(海業)に取り組みます。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・水産業生産基盤の強化と漁業経営の安定化を図ります。 ・水産業の担い手や後継者育成と新規就業者の支援を行います。 ・「安全・安心」「高品質」な水産物の栽培とブランド化や地産地消を図ります。
	その他(地域)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関・団体(漁協等)と連携して、水産業の振興に努めます。

施策のトータルコスト	区 分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	23 (20)	22 (18)			
うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	17 (14)	4 (4)				
うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	3 (3)	16 (12)				
うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	3 (3)	2 (2)				
うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—						
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	44,106	26,877				
うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	9,766	6,238				
うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	18,640	19,939				
うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	15,700	700				
うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—						
C. 施策に携わるのべ正規職員数合計	人	—	66	66				
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	6,000	5,940				
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	26,394	24,912				
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	70,500	51,789				
効率性指標	市民1人あたりにおける施策の							
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	995	610			
	同上	円	—	596	566			
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	596	566			
同上	円	—	1,591	1,176				
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	1,591	1,176				

参考	1時間あたりの平均人件費	円	—	4,399	4,194		
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	44,315	44,036		

基本事業概要シート①

施策No.	6	施策名	水産業の振興
基本事業名①		水産業生産基盤の整備強化	
基本事業①の目的(意図)		資源が管理され、安定した漁獲量を維持しています。	
平成25年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【環境・生態系保全事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁場の生産性を高めるため、魚津市沿岸の藻場再生に取り組みました。 <p>【栽培増殖振興対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種苗放流等により資源の増大を図りました。 <p>【漁港維持管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業生産に不可欠な漁業基地として漁港機能の充実に努めました。 <p>【内水面漁業振興対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川での水産資源の増大に取り組むとともに鮭の種苗放流を促進しました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
市場での水揚量	t	3,424	3,500	3,700	3,800	3,900	4,000	4,100	4,500
			4,227	4,791	4,078	4,739			
船揚施設利用船舶数	隻	119	120	125	130	130	130	130	130
			109	117	106	89			

基本事業①を構成する事務事業の実績							
No.	会計名	事務事業名	平成25年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	環境・生態系保全事業	1,970,000	1,885,000	85,000	B	農林水産課
2	一般会計	栽培増殖振興対策事業	2,500,000	2,439,850	60,150	B	農林水産課
3	一般会計	漁港維持管理事業	3,300,000	1,323,000	1,977,000	B	農林水産課
4	一般会計	内水面漁業振興対策事業	590,000	589,968	32	B	農林水産課
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			8,360,000	6,237,818	2,122,182		

基本事業概要シート②

施策No.	6	施策名	水産業の振興
基本事業名②		水産業経営基盤の整備強化と担い手育成	
基本事業②の目的(意図)		漁業の後継者が育っています。	
平成25年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【漁業後継者育成対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業団体が行う漁業就業者獲得のための説明会や後継者定着のための研修会を支援し、条件を満たす新規就業者には住居費の支援をしました。 <p>【漁業経営安定対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営状況が厳しい漁業者の漁船保険や漁獲共済の掛け金等を助成し経営を支えました。 <p>【漁業振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海業など新しい漁業経営を創出し、漁港地域の活性化に繋がりました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
漁業者数(漁協正組員)	人	220	220	220	225	225	230	240	250
			224	214	206	208			
ボートヤード利用隻数	隻	74	60	65	70	75	80	90	100
			74	69	65	65			

基本事業②を構成する事務事業の実績							
No.	会計名	事務事業名	平成25年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	船員窓口事務	3,000	1,500	1,500	B	農林水産課
2	一般会計	富山県北方領土復帰促進協議会参画事業	130,000	130,000	0	B	農林水産課
3	一般会計	海上保安協会富山県支部参画事業	9,000	9,000	0	A	農林水産課
4	一般会計	あいの風海域沿岸首長会議参画事業	20,000	20,000	0	C	農林水産課
5	一般会計	港湾公衆便所管理業務	377,000	369,360	7,640	B	農林水産課
6	一般会計	漁協女性部助成事業	40,000	40,000	0	A	農林水産課
7	一般会計	沖合漁業・出漁団助成事業	70,000	70,000	0	B	農林水産課
8	一般会計	魚津港振興会助成事業	200,000	200,000	0	B	農林水産課
9	一般会計	経田漁港振興会助成事業	40,000	40,000	0	A	農林水産課
10	一般会計	水産都市協議会参画事業	8,000	8,000	0	B	農林水産課
11	一般会計	養鯉振興会参画事業	5,000	5,000	0	B	農林水産課
12	一般会計	漁業経営安定対策事業	6,674,000	6,455,705	218,295	B	農林水産課
13	一般会計	漁業振興事業	12,500,000	11,990,174	509,826	A	農林水産課
14	一般会計	漁業後継者育成対策事業	840,000	600,000	240,000	A	農林水産課
15	予算なし	漁業許可申請事務	0	0	0	B	農林水産課
16	予算なし	水難救助法事務	0	0	0	B	農林水産課
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			20,916,000	19,938,739	977,261		

基本事業概要シート③

施策No.	6	施策名	水産業の振興
基本事業名③		魚のブランド化と地産地消の推進	
基本事業③の目的(意図)		魚津産魚の料理講習会や給食食材の提供など食育も行いながら、地産地消を推進します。	
平成25年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【魚津のさかなブランド化推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な魚津の魚の美味しさをアピールし、消費の拡大に努め、魚津ブランドを確立することにより魚津産魚の魚価向上を図ります。 <p>【漁業振興事業(品質競争力強化)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津産魚の鮮度等品質管理を徹底し競争力をあげます。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
市場での水産物取扱額	百万円	1,631	1,700	1,800	1,900	2,000	2,050	2,100	2,150
			1,570	1,555	1,465	1,457			

基本事業③を構成する事務事業の実績							
No.	会計名	事務事業名	平成25年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	魚津のさかなブランド化推進事業	500,000	500,000	0	A	農林水産課
2	一般会計	魚食普及事業	200,000	200,000	0	B	農林水産課
3	一般会計	漁業振興事業(施策6-②再掲)	(12,500,000)	(11,990,174)	(509,826)	A	農林水産課
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			700,000	700,000	0		

施策No.	6	施策名	水産業の振興
-------	---	-----	--------

25年度の 評価結果 (基本事業 の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【水産業生産基盤の整備強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆漁獲量は、661ポイント増となりました。また、水産物取扱額は、8.0ポイント減としての減収となっており、豊漁であったが魚価の低迷でなかなか上がらないところに要因があると思われます。 ◆消費者の魚離れにより売上は減少しているものの、一部にはPRの強化などにより魚価が上昇している魚種(ウマヅラハギ、バイ貝、ゲンゲなど)もあります。 ◆富山県の漁業生産量は3万8千~5万トンで推移しており、この内沿岸漁業の漁獲量は2万トン前後と堅調に推移しています。 ◆平成22年度以降魚津漁協の水揚量はウマヅラハギの影響によりカワハギ類の水揚量が大きく伸びています。 <p>【水産業経営基盤の整備強化と担い手育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆新規漁業事業者は異業種からの参加者が増えてきています。 <p>【魚のブランド化と地産地消の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆住民(消費者)は、安全、安心な魚はもとより、新鮮でおいしい魚を求めており、消費者ニーズの応えるため鮮度を保つための氷の活用など、さまざまな対策を検討しています。 <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆環境・生態系保全事業や魚津のさかなブランド化推進事業など他市に先駆けた水産振興策に取り組んでいます。 		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (25年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)		
	<p>【水産業生産基盤の整備強化】</p> <p><環境・生態系保全事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆衰退している藻場を復元させるため、魚津市漁場環境保全会が経田海岸においてアマモの増殖活動調査を実施するため、平成25年度は1,885,000円の支援をしました。現在は少しずつ藻場が増えています。 ◆栽培増殖振興対策事業> ◆ヒラメの稚魚(45,000尾)の中間育成やクルマエビ(60,000尾)の種苗を放流することにより、ヒラメなどの漁獲量が増えつつあります。 ◆内水面漁業振興対策事業> ◆イワナ稚魚(5,700尾)、ヤマメ稚魚(3,600尾)、稚鮎(80,000尾)を布施川、片貝川、角川に放流し、河川の資源減少の取り組みを行うことで川魚も増えています。 <p>【水産業経営基盤の整備強化と担い手育成】</p> <p><漁業後継者育成対策事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆新規就業者3名に対し、1年間の住居費を助成しています。(一人月20,000円、年間240,000円) <p>【魚のブランド化と地産地消の推進】</p> <p><魚津のさかなブランド化推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津の魚をブランド化し、魚価を向上させる漁業経営の安定化を図るため、寒ハギなど魚津のさかなブランド化事業を推進することにより、一部魚価が上昇しています。また、平成25年度に東京都で開催したFish-1グランプリにおいて魚津のバイ飯が準グランプリになったことで、バイ貝の価格が上昇しています。 		
	3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)		
<p>【水産業生産基盤の整備強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆不漁と魚価の低迷のなか、ヒラメの稚魚の中間育成やクルマエビの種苗を放流し、水産資源の増大を図る必要があります。そのため栽培増殖振興対策事業、内水面漁業振興対策事業など生産基盤の強化に取り組む必要があります。また、衰退している藻場の再生事業や木材を活用した漁礁の設置、稚魚の放流などを行い生産性を高める必要があります。 <p>【水産業経営基盤の整備強化と担い手育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆厳しい環境にある漁業経営や新規就業者のための漁業就業者獲得の説明会や後継者定着の研修会を開催し、条件を満たす新規就業者には引続き住居費等の助成を行う必要があります。 <p>【魚のブランド化と地産地消の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆漁協と連携して、品質管理の徹底や魚津産魚介類のブランド化を推進し、魚価を向上させ漁業経営の安定化を図る必要があります。 			

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	施策の重要度	一般
	<ul style="list-style-type: none"> ◆漁業経営の健全化、安定化、活性化を図るためには、水産資源の管理と豊かな漁場づくりなど魚津産の魚介類に付加価値を付けること。 ◆徹底した品質管理のもと、鮮度や安全などを確保したブランド化、6次産業化、高品質化に努めること。 ◆食育や地産地消の推進など消費拡大を図るための方策等を検討すること。 ◆みなとオアシスSea級グルメ全国大会を平成29年度に魚津市で開催し、魚津の魚介類を含め、みなとオアシス魚津を広く全国にPRすること。 	

経営戦略会 議における施 策の課題及 び方針	施策の重要度	一般
	<ul style="list-style-type: none"> ◆魚津産魚介類を全国にPRし、ブランド化を推進し、漁業経営の安定化及び活性化を図ります。 ◆食育や地産地消、6次産業化を推進し、消費拡大を図ります。 ◆平成29年度に開催を目指すみなとオアシスSea級グルメ全国大会に向けて準備を進めるとともに、魚津の魚介類を含め、みなとオアシス魚津を広く全国にPRします。 	